



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年11月12日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL) 04(7094)5581
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 31年3月期第2四半期の業績(30年4月1日~30年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,378	△36.8	△213	—	△285	—	△293	—
30年3月期第2四半期	2,181	2.0	166	△3.0	135	△1.5	115	△19.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△32.82	—
30年3月期第2四半期	12.90	12.88

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	6,564	832	12.6	25.39
30年3月期	6,294	1,127	17.9	58.57

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 826百万円 30年3月期 1,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,165	△21.9	△270	—	△350	—	0	△100	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	10,453,920株	30年3月期	10,453,920株
31年3月期2Q	1,514,075株	30年3月期	1,514,075株
31年3月期2Q	8,939,845株	30年3月期2Q	8,939,846株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用・所得の改善等で緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米中の貿易摩擦等の政治的不安材料があり、先行きは不透明な状況にあります。

リゾートホテル業界におきましては、海外旅行は増加し、国内旅行も訪日外国人の増加に支えられ堅調に推移しました。

そのような状況の中で当社は、主力施設である鴨川グランドホテルの耐震改修並びにバリューアップ工事による休館が続いており、その他事業所にて業績をカバーすべく販売力の強化と収益の確保に取り組んでまいりましたが、ホテル・リゾート関連は、夏季の最需要期において台風の影響等もあり伸び悩みました。一方、ビジネスホテルは訪日外国人や堅調な国内需要に支えられ引き続き高稼働を維持しております。

その結果、当第2四半期累計期間の営業収益は1,378百万円と前年同四半期と比べ803百万円(36.8%減)の減収となり、営業損失213百万円(前年同四半期は166百万円の利益)、経常損失285百万円(前年同四半期は135百万円の利益)、四半期純損失293百万円(前年同四半期は115百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ270百万円増加し、6,564百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1,055百万円減少し、388百万円となりました。これは主に、現金及び預金が961百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1,326百万円増加し、6,176百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が1,424百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ300百万円減少し、3,850百万円となりました。これは主に、短期借入金が149百万円増加したものの、1年以内返済の長期借入金が302百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ866百万円増加し、1,882百万円となりました。これは主に、長期借入金が864百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ295百万円減少し、832百万円となりました。これは主に、四半期純損失293百万円の計上によるものであります。

(2) キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ961百万円減少し、171百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は241百万円(前年同四半期は300百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純損失289百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は1,423百万円(前年同四半期に比べ1,358百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産1,429百万円の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は702百万円(前年同四半期は79百万円の支出)となりました。これは主に、借入金357百万円の返済による支出があったものの、920百万円の借入れによる収入があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、当初公表いたしました予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,133,388	171,948
売掛金	202,358	117,149
たな卸資産	43,556	37,386
未収入金	2,424	2,247
その他	63,054	60,052
貸倒引当金	△20	△12
流動資産合計	1,444,762	388,772
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,034,330	12,015,617
減価償却累計額	△8,953,293	△9,018,141
建物(純額)	3,081,036	2,997,475
構築物	514,509	514,509
減価償却累計額	△471,699	△472,951
構築物(純額)	42,810	41,558
機械及び装置	234,266	234,266
減価償却累計額	△173,468	△175,979
機械及び装置(純額)	60,797	58,286
車両運搬具	11,256	9,379
減価償却累計額	△10,510	△8,794
車両運搬具(純額)	746	585
工具、器具及び備品	835,200	835,038
減価償却累計額	△750,311	△752,995
工具、器具及び備品(純額)	84,889	82,043
土地	1,069,153	1,067,778
リース資産	154,401	163,893
減価償却累計額	△96,000	△105,965
リース資産(純額)	58,401	57,927
建設仮勘定	89,041	1,513,093
有形固定資産合計	4,486,876	5,818,748
無形固定資産		
投資その他の資産	35,798	32,304
投資有価証券	123,316	119,345
差入保証金	169,703	169,603
保険積立金	12,229	15,232
その他	30,580	29,717
貸倒引当金	△8,894	△8,894
投資その他の資産合計	326,935	325,003
固定資産合計	4,849,610	6,176,057
資産合計	6,294,373	6,564,829

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,399	55,322
短期借入金	3,049,268	3,198,456
1年内返済予定の長期借入金	491,374	188,608
未払金	13,745	16,414
未払費用	259,760	213,652
未払法人税等	20,902	9,900
未払消費税等	40,305	6,027
賞与引当金	48,195	42,317
その他	139,701	119,582
流動負債合計	4,150,652	3,850,280
固定負債		
長期借入金	295,608	1,160,596
繰延税金負債	11,747	10,388
退職給付引当金	143,928	139,747
役員退職慰労引当金	42,620	39,031
長期預り保証金	456,144	452,794
その他	65,831	79,557
固定負債合計	1,015,880	1,882,114
負債合計	5,166,532	5,732,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△24,218	△317,644
自己株式	△5,320	△5,320
株主資本合計	1,095,810	802,384
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,806	24,589
評価・換算差額等合計	27,806	24,589
新株予約権	4,224	5,459
純資産合計	1,127,841	832,433
負債純資産合計	6,294,373	6,564,829

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業収益	2,181,605	1,378,560
営業費用	2,015,123	1,591,933
営業利益又は営業損失(△)	166,481	△213,372
営業外収益		
受取保険金	1,346	1,607
助成金収入	330	330
その他	6,465	6,862
営業外収益合計	8,142	8,799
営業外費用		
支払利息	38,542	39,560
休止固定資産減価償却費	-	41,084
その他	381	130
営業外費用合計	38,924	80,775
経常利益又は経常損失(△)	135,700	△285,348
特別利益		
補助金収入	8,400	-
特別利益合計	8,400	-
特別損失		
固定資産除却損	2,191	3,860
特別損失合計	2,191	3,860
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	141,909	△289,209
法人税、住民税及び事業税	26,626	4,216
法人税等合計	26,626	4,216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	115,282	△293,425

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	141,909	△289,209
減価償却費	124,467	76,664
休止固定資産減価償却費	-	41,084
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△290	△8
賞与引当金の増減額(△は減少)	467	△5,877
退職給付引当金の増減額(△は減少)	540	△4,180
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△470	△3,589
受取利息及び受取配当金	△1,153	△1,185
支払利息	38,542	39,560
固定資産除却損	2,191	3,860
売上債権の増減額(△は増加)	21,301	85,209
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,594	6,170
前払費用の増減額(△は増加)	3,509	△6,944
未収入金の増減額(△は増加)	1,052	177
仕入債務の増減額(△は減少)	33,604	△32,076
未払金の増減額(△は減少)	△6,833	△868
未払費用の増減額(△は減少)	9,239	△46,290
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,485	△34,278
前受金の増減額(△は減少)	△13,854	△20,903
預り金の増減額(△は減少)	△136	△691
預り保証金の増減額(△は減少)	△3,050	△3,350
長期前払費用の増減額(△は増加)	△1,851	-
その他	△7,099	1,761
小計	352,975	△194,965
利息及び配当金の受取額	973	997
利息の支払額	△34,368	△35,950
法人税等の支払額	△18,961	△11,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,618	△241,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△65,764	△1,429,840
固定資産の売却による収入	4,531	10,288
投資有価証券の取得による支出	△599	△599
差入保証金の回収による収入	-	100
その他	△3,002	△3,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,835	△1,423,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△64,011	149,188
長期借入れによる収入	-	920,000
長期借入金の返済による支出	△8,584	△357,778
新株予約権の発行による収入	1,286	1,235
リース債務の返済による支出	△8,205	△9,914
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,514	702,731
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	156,269	△961,440
現金及び現金同等物の期首残高	1,184,668	1,133,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,340,938	171,948

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期会計期間(自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,752,346	364,473	2,116,820	64,785	2,181,605	—	2,181,605
セグメント利益 又は損失(△)	166,258	38,286	204,545	△2,990	201,555	△35,073	166,481

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額 △35,073千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	986,366	331,528	1,317,894	60,665	1,378,560	—	1,378,560
セグメント利益 又は損失(△)	△193,860	9,973	△183,887	3,550	△180,337	△33,035	△213,372

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△33,035千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。